

千葉県勝浦沖漁場におけるキンメダイ漁獲量と 黒潮貢献度指数との関係

清水 利厚

Relation Between Catch of A Japanese Alfonsin,
Beryx splendens, from the off Katsuura Fishing Grounds
and Index of Kuroshio Current Contributed to Recruitment

Toshiatsu Shimizu

産卵期の海況がその後の資源の加入量に影響し、漁況変動の原因の一つになることが考えられる。伊豆半島東部沿岸地域のキンメダイ漁獲量は産卵期（7～9月）の海況、とくに黒潮流路のありようと大きな関係があるといわれている。沿岸主要港のキンメダイ漁獲量と黒潮貢献度指数¹⁾との間には、指数が高かった年の4～5年後の漁獲量が高くなる相関関係があり、漁獲対象年齢とほぼ一致する。¹⁾そこで同じ貢献度指数を用いて千葉県勝浦沖漁場のキンメダイ漁獲量との相

関関係を調べた。

1969～1983年の勝浦沖漁場の漁獲量²⁾（図1）と黒潮貢献度指数（図2）との相互相関をみると5～7年後漁獲量との相関が高かった（図3）。一方漁獲物組成は3・4歳魚が主体²⁾であるから、勝浦沖漁場では貢献度指数がその後の漁獲に反映していない。漁獲量が資源量を反映しているとする、産卵期における黒潮流路の貢献度合いが漁場によって異なることを示している。

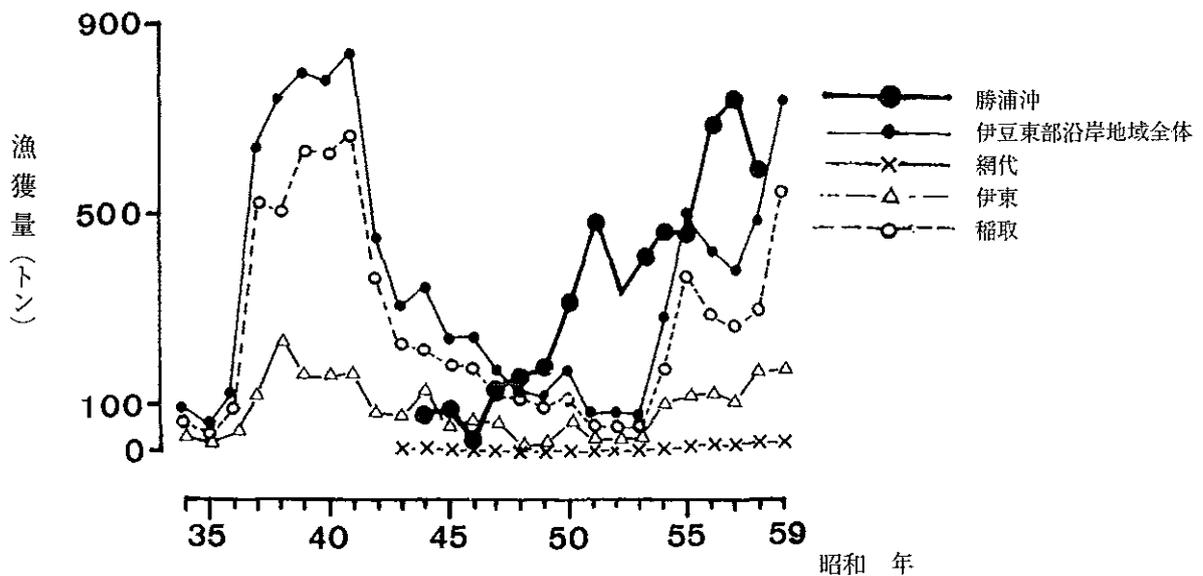


図1 沿岸キンメダイの主要港別水揚量の経年変化 (大西¹⁾に補)

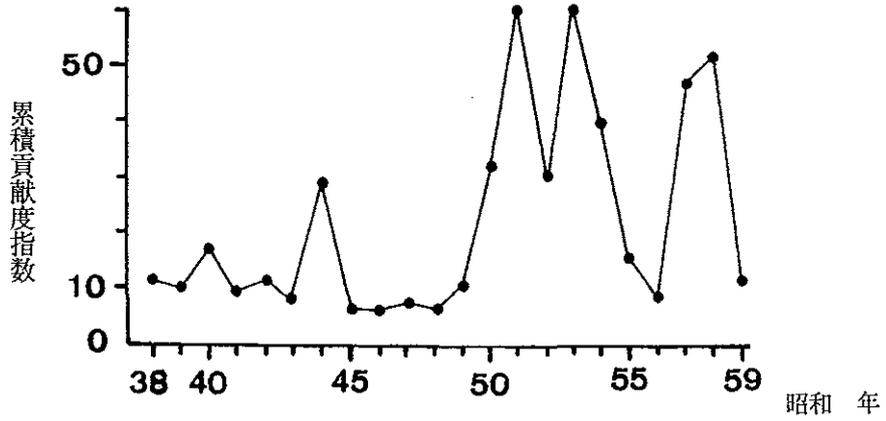


図2 産卵期(7~9月)における海況貢献度指数の経年変化(大西¹⁾による)

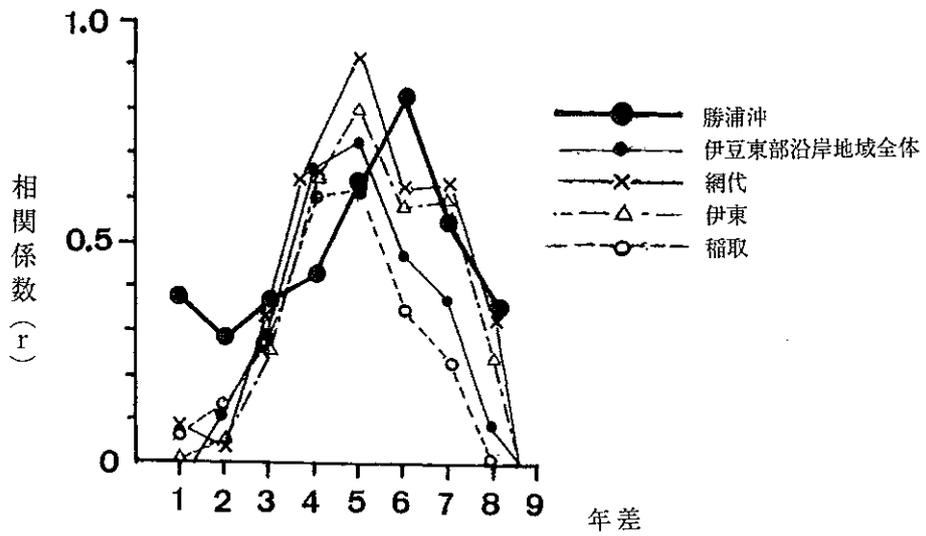


図3 沿岸キンメダイ主要港別水揚量と黒潮貢献度指数との相互相関係数の分布(大西¹⁾に補)

文 献

1) 大西慶一 (1985): キンメダイの資源補給に関する研究(1) -沿岸キンメダイの漁獲量と伊豆沖の黒潮流路との関係. 伊豆分場だより 218, 2-6.

2) 千葉県 (1991): 市場水揚物調査・漁獲統計調査. 平成2年度広域資源培養管理推進事業報告書. 42-53.